

インターンシップ生の活躍

マイ笹新聞

2019
3.23



★彼女たちの成長に感動★

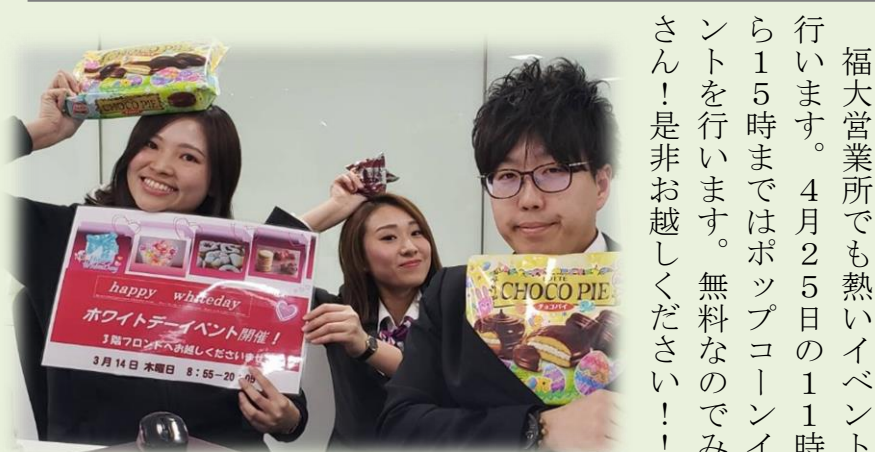
2月26日から3月9日までの10日間、中村学園大学短期大学部生によるインターンシップが行われました。4名が参加し、マイマイのフロント業務に携わりました。送迎バス業務、受付や検定、配車の仕事に携わりつつ、3月3日には「ひなまつりイベント」を行いました。イベントでは彼女たちが主体となり盛り上げてくれました。



最終日には私達職員の前でインターンシップを終えて感じたことをひとりひとり発表してくれました。年齢が離れた私達を目の前にして緊張の中の発表だったのですが、4名とも声が小さくなることなく、ハキハキとした口調と笑顔で発表してくれました。初日のあいさつでは緊張に負け、小さい声であいさつしていた彼女たちが10日間でこんなに変わるのかと驚かされました。また、高校を卒業して1年とは思えないほど堂々としており、私達職員にとっても良い刺激となりました。

WHITE DAY

3月14日はホワイトデーイベントでした。当日に技能教習を受けられたお客様限定で、フロントスタッフから配車券と一緒に日頃の感謝の気持ちを込めたチョコパティをお渡しさせて頂きました。皆さんの心とお腹が少しでも満たされたのであれば嬉しいです。今回のイベントは4月末に行います。何をするかはまだ内緒です。楽しみにお待ちください。



今日の一言

皆さん、こんにちは。春は別れの季節と言います。今回は偉人たちの名言をお送りします。新たなステージへ旅立つ人へ。「世界には、きみ以外にも誰も歩むことのできない唯一の道がある。その道はどこに行き着くのか、と問うてはならない。ひたすら進め。」(ニーチェ) 未来へと進む道の途中では周囲の意見に惑わされることも多い。心に迷いを感じた時こそこの言葉。「他人の意見で、自分の本当の心の声を消してはいけない。自分の直感を信じる勇氣を持ちなさい。」(ステイブ・ジョブズ) 自分のやるべきことは貫いて生きていく。晴れの日もあれば雨の日もあるように、新しい環境で失敗や挫折を経験し、心が傷ついたときに。「挫折を経験したことが無い者は、何も新しい事に挑戦したことが無いということだ。」(アインシュタイン) 明日やつてくるかもしれない未来の成功に目を向ける。「元氣を出しなさい。今日の失敗ではなく、明日訪れるかもしれない成功について考えるのです。」(ヘレン・ケラー) 子供の頃は、何度転んでもまたすぐに起き上がって走り出したでしょう。失敗や転ぶことを恐れずに何かにトライし続けましょう。「大切なのは、倒れないことより、すぐ起き上がることである。」(斎藤茂太) 一番いけないのはクヨクヨ考え過ぎてしまうこと。「悩み事は、散歩して忘れるのが一番だ。まあ、ちよつと外へ出てみたまえ。ほら、悩みごとなんか、翼が生えて飛んで行ってしまおう。」(デル・カーネギー) 「山は西からも東からも登れる。自分が方向を変えれば、新しい道はいくらでも開ける。」(松下幸之助) 多くの人が何かと別れ、新しいステージへ向かう春。どんな人生を送っていきたいのか。偉人たちが遺している言葉からは、一歩踏み出す勇氣の大切さを感じる。考えてばかりでは何も始まらない。行動することこそが大切。未来は誰にでも開かれている。